



感染制御実践看護師 川合英樹

専門・認定看護師会 令和3年7月発行

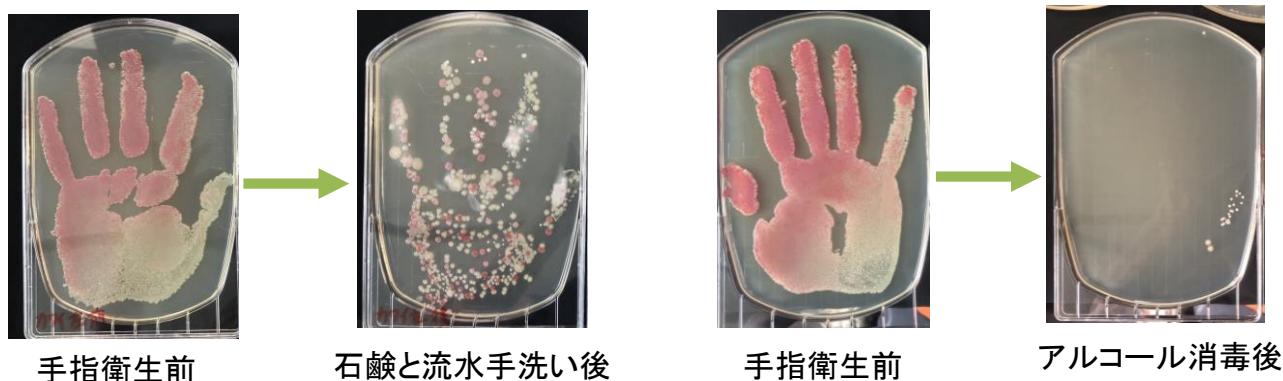
### 医療従事者が行う手指衛生について

私は山形済生病院で主に病院内の感染管理に関わる仕事をしています。令和2年1月より、この仕事をするようになったのですが、まさか感染管理の最初の大仕事が新型コロナウイルス感染症の感染対策になるとは思いませんでした。

新型コロナウイルス感染症における基本的な感染対策はマスクの着用と手洗いです。

病院では手洗いとは言わず、「**手指衛生**」という言い方をします。

最近ではいろんな場所に手指消毒剤が置いてあるので、皆さんもよく利用していると思います。ではその消毒剤で消毒すると手はどれくらいキレイになるのでしょうか？



手指衛生前

石鹼と流水手洗い後

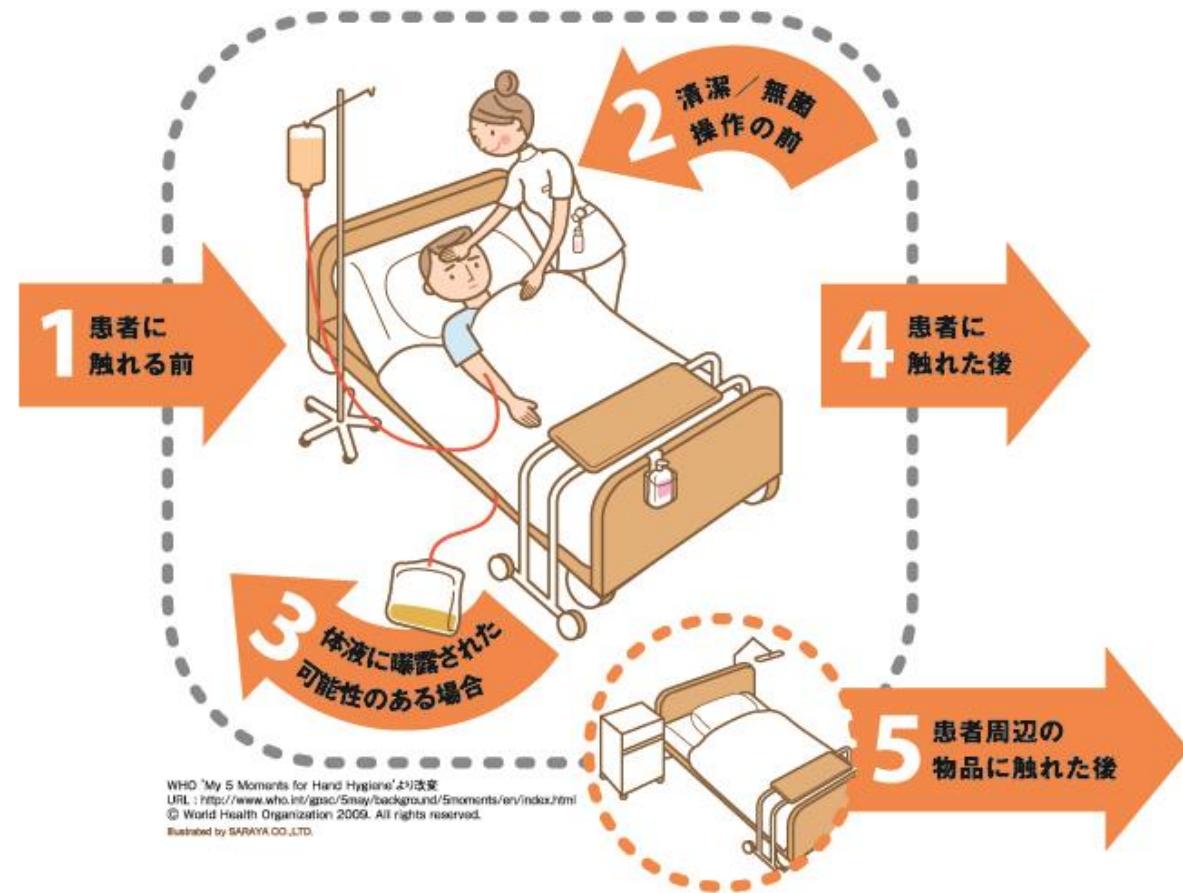
手指衛生前

アルコール消毒後

上の写真は細菌がついた手を、石鹼流水手洗いとアルコール消毒の2つの手指衛生を行い、その効果を比較した写真です。流水手洗いは細菌が残っていますが、アルコール消毒後は細菌がほぼいません。

アルコールはウイルスや細菌に対し強い消毒効果を発揮します。手指衛生を基本的な感染対策と言っている根拠は、この消毒効果にあります。

ただし、アルコールには汚れ落とす効果がないので、手が汚れた時は石鹼と流水で手を洗うことが重要です。



上の図は世界保健機関(WHO)が提唱する手指衛生の5つの場面です。この5つの場面で手指衛生を行うことで、感染のリスクから患者様や医療従事者を守ることができると言われていています。私の仕事の中に医療従事者の手指衛生の遵守率を上げるという重要な仕事があります。



あなたの手は  
綺麗ですか？

感染対策は  
ひとりひとりの心がけ

SARAYA

手指衛生の遵守率というのは 適正な場面で手指衛生を行うということです。特に患者様に触れる前と、患者様に触れた後に行う手指衛生は特に重要な場面です。当院の医療従事者には、この2つの場面の手指衛生を徹底するよう啓発しております。当院を利用される患者様におかれましても、病院に入る前、診察を受ける前、病室に入る前、病室から出た後に手指衛生をしていただくようお願いします。